

日本電波工業株式会社

第 77 期報告書

(2017年4月1日～2018年3月31日)



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第77期（2017年4月1日～2018年3月31日）の事業の概況と決算の状況を報告申し上げます。

当期における当社を取り巻く事業環境につきましては、自動車市場では、電装化の進展とADAS（先進運転支援システム）機器を搭載する自動車数の増加に伴い、1台当たりの水晶デバイス搭載数は増える傾向にあります。一方、スマートフォン（スマホ）市場では、生産台数の成長鈍化が鮮明になりました。中国のスマホ市場では、前期における過剰生産が当期に入ってから顕在化し、在庫調整が長引くことになりました。また、大手スマホメーカーが年後半に投入したハイエンドモデルにおいても減産の影響が見られました。

このような事業環境下におきまして、当社は、期初に大手スマホメーカー並びに中国の新興スマホメーカーによる生産増を前提とした計画を立てましたが、双方における需要が大きく失速したため、移動体通信市場を中心に売上見通しが想定を大きく下回る結果となりました。さらに、期初計画に沿って生産能力の増強を進めた結果、諸コストが増加し、収益性が大幅に悪化する事態となりました。この結果、スマホに使用されるTCXO（温度補償水晶発振器）、温度センサ内蔵水晶振動子及びSAW（弾性表面波）デバイス用の生産設備を中心に減損損失を65億円計上し、100億円を上回る最終赤字を計上するに至りました。

以上の結果、当期の連結業績（IFRS）につきましては、連結受注高は434億5千9百万円（前期比2.2%減）となり、連結売上高は439億5千2百万円（前期比0.4%増）となりました。また、営業損失は96億1千8百万円（前期は営業利益7億2千7百万円）、税引前当期損失は96億4千万円（前期は税引前当期利益4億7千2百万円）、当期損失は102億2百万円（前期は当期利益6億1千1百万円）となりました。なお、在外営業活動体の換算損益が3億7千8百万円増加する等、税引後その他の包括利益が4億6千9百万円となったことから、当期包括損失合計は97億3千2百万円（前期は当期包括損失合計7千2百万円）となりました。

来期における当社を取り巻く事業環境につきましては、移動体通信向けでは、TCXO及びSAWデバイス向けを中心に売上高が減少するとともに、産業機器向けは携帯電話基地局向けの水晶需要が現行の4Gから5Gへの移行を控えて弱い見通しのため、売上高は微減の見込みです。一方、車載向けはADAS向けを中心に売上高が堅調に伸びる見込みです。さらに、ヘルスケアや物流等で使用されるIoT向け製品の販売が増える見通しであり、グループ全体の売上高は前期を上回る見通しです。また、当期に減損損失を計上した結果、来期の減価償却費が減少すること及び構造改革を実施することにより、来期は利益を計上する見通しです。

株主の皆様におかれましては、今後とも何とぞ格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

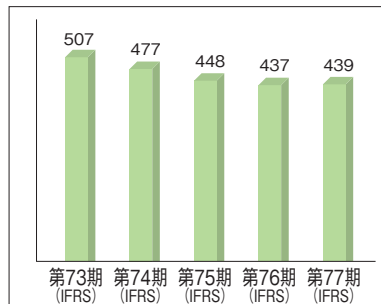


代表取締役会長兼社長 竹内敏晃

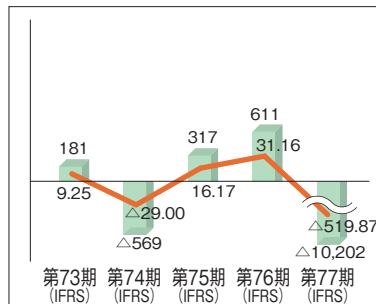
2018年6月

財務ハイライト（連結）

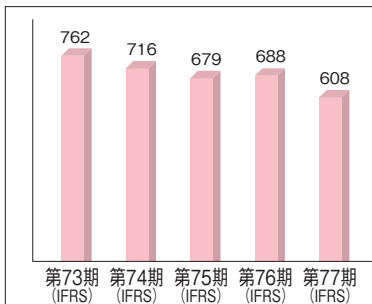
・売上高 (単位：億円)



・当期利益又は当期損失(△) (単位：百万円) ・基本的1株当たり当期利益又は当期損失(△) (単位：円)



・総資産額 (単位：億円)



(注) 第73期の数値は、会計方針の変更による遡及適用後の数値となっております。

連結財務諸表（国際会計基準）

連結財政状態計算書（要旨）

（単位：百万円）

期 別 科 目	前 期 (2017年 3 月31日現在)	当 期 (2018年 3 月31日現在)
（資 産 の 部）		
流 動 資 産	38,814	34,673
現金及び現金同等物	13,350	6,851
営 業 債 権	10,500	10,878
棚 卸 資 産	12,188	13,740
未収法人所得税等	55	17
デリバティブ資産	0	223
そ の 他	2,719	2,961
非 流 動 資 産	30,016	26,143
有形固定資産	26,165	23,618
無 形 資 産	988	251
投資有価証券	978	1,079
繰延税金資産	1,303	655
そ の 他	580	537
資 産 合 計	68,830	60,816

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結包括利益計算書（要旨）

（単位：百万円）

期 別 科 目	前 期 (自2016年 4 月 1 日 至2017年 3 月31日)	当 期 (自2017年 4 月 1 日 至2018年 3 月31日)
売 上 高	43,791	43,952
売 上 原 価	34,620	37,768
売 上 総 利 益	9,171	6,184
販売費及び一般管理費	6,479	6,642
研 究 開 発 費	2,035	1,787
その他の営業収益	443	310
その他の営業費用	371	7,682
営業利益又は営業損失(△)	727	△9,618
金 融 収 益	216	174
金 融 費 用	471	197
税引前当期利益又は税引前当期損失(△)	472	△9,640
法人所得税費用	△138	561
当期利益又は当期損失(△)	611	△10,202
税引後その他の包括利益又は税引後その他の包括損失(△)	△684	469
当期包括損失合計(△)	△72	△9,732

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

（単位：百万円）

期 別 科 目	前 期 (2017年 3 月31日現在)	当 期 (2018年 3 月31日現在)
（負 債 の 部）		
流 動 負 債	26,386	28,270
借 入 金 等	15,183	16,611
営業債務その他の未払勘定	9,471	9,892
デリバティブ負債	212	28
引 当 金	—	518
未払法人所得税等	233	122
そ の 他	1,285	1,096
非 流 動 負 債	17,209	17,438
借 入 金 等	12,756	13,325
繰延税金負債	403	205
従業員給付金	3,624	3,448
引 当 金	52	120
政府補助金繰延収益	124	100
そ の 他	249	237
負 債 合 計	43,596	45,708
（資 本 の 部）		
親会社の所有者に帰属する持分	25,234	15,108
資 本 金	10,649	10,649
資 本 剰 余 金	8,563	8,562
その他の資本の構成要素	△ 1,025	△ 640
利 益 剰 余 金	7,046	△ 3,463
資 本 合 計	25,234	15,108
負債及び資本合計	68,830	60,816

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

期 別 科 目	前 期 (自2016年 4 月 1 日 至2017年 3 月31日)	当 期 (自2017年 4 月 1 日 至2018年 3 月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,891	△ 915
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,686	△ 7,331
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,765	1,671
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 3,560	△ 6,575
現金及び現金同等物の期首残高	17,161	13,350
為 替 変 動 に よ る 影 響	△ 251	76
現金及び現金同等物の期末残高	13,350	6,851

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

NDK製品の主な用途

超音波探触子

超音波（エコー）診断装置のセンサーとして、腹部、産科、循環器領域の診断に幅広く用いられています。



病院

衛星通信・放送

超高安定水晶発振器

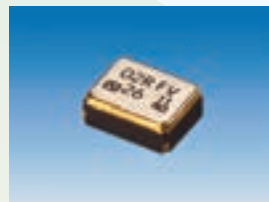
携帯電話の基地局において、携帯電話に送る電波を安定させる、いわば心臓部といえる働きをしています。



データセンター

超小型水晶発振器

携帯電話が送信する電波、受信する電波を安定化させます。



移動体通信基地局

サーバ

無線LAN

プロジェクタ

パソコン

複合機

ロボット

Town

Office

Environment

QCMセンサ

水晶をセンサとして用いることで、食品・医療・環境などの研究分野で微量の質量の物質をリアルタイム・高感度・高精度に計測・解析することができます。



SAWデバイス

私たちの周りには、たくさんの電波が飛び交っています。その中から通話やメールに必要な電波だけを選択する機能を有しています。



携帯電話

Home

電子ブック

ゲーム機

3DTV

スマートメーター

デジタルカメラ

Blu-ray

Traffic

路車間通信

車車間通信

電気自動車

GPS・カーナビ

エアバッグ

エンジンコントロール

ETC

ETC

水晶振動子

TV放送の電波を受信したり、デジタルカメラ、ゲーム機の中のマイクロコンピュータが情報の受け渡しをする際のタイミングをとっています。

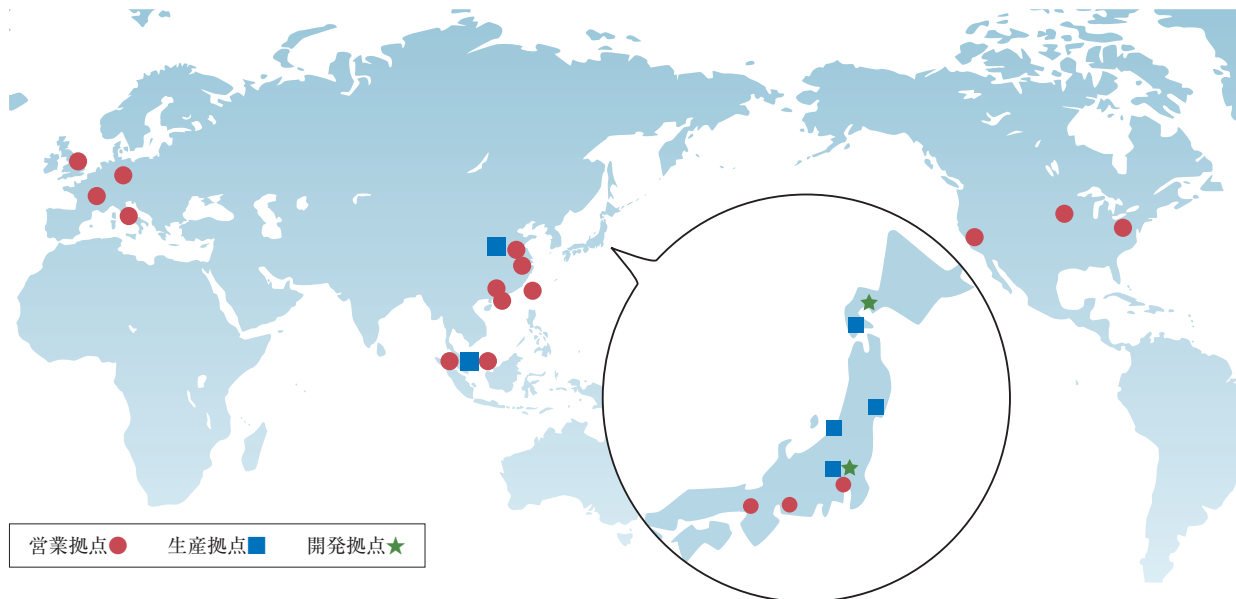


水晶振動子

エンジンコントロールやエアバッグ等のクルマの安全に直接関わる部分から、ETC、カーナビ、GPSなどの通信機器に至るまで、幅広く使用されています。



NDKグループネットワーク



事業所及び営業所

- 本社事務所（東京都渋谷区）
- 大阪事務所（大阪府大阪市）
- 中部営業所（愛知県岡崎市）
- ★ 狭山事業所（埼玉県狭山市）
- ★ 千歳テクニカルセンター（北海道千歳市）

国内関係会社

（国内生産拠点）

- 古川エス・デー・ケー株式会社（宮城県大崎市）
- 函館エス・デー・ケー株式会社（北海道函館市）
- 新潟エス・デー・ケー株式会社（新潟県新潟市）

海外関係会社

（海外営業拠点）

- NDK AMERICA, INC.（アメリカ・イリノイ州）
- SILICON VALLEY OFFICE（アメリカ・カリフォルニア州）
- EASTERN U.S. REGIONAL OFFICE（アメリカ・ペンシルバニア州）
- NDK EUROPE LTD.（イギリス・ロンドン）
- NDK EUROPE LTD. FRENCH OFFICE（フランス・パリ）
- NDK EUROPE LTD. ITALY OFFICE（イタリア・ミラノ）
- NDK EUROPE LTD. GERMAN OFFICE（ドイツ・シンスハイム）
- NDK CRYSTAL ASIA PTE. LTD.（シンガポール）
- 日本電波工業（香港）有限公司（中国・香港）
- 香港商日電波有限公司台北分公司（台湾・台北）
- 日電波水晶（上海）貿易有限公司（中国・上海）
- 日電波水晶（上海）貿易有限公司深圳分公司（中国・深圳）
- 蘇州日本電波工業有限公司営業部（中国・蘇州）
- 蘇州日電波工業貿易有限公司（中国・蘇州）
- ASIAN NDK CRYSTAL SDN.BHD. SALES DEPT.（マレーシア・セランゴール州）

（海外生産拠点）

- ASIAN NDK CRYSTAL SDN. BHD.（マレーシア・セランゴール州）
- NDK QUARTZ MALAYSIA SDN. BHD.（マレーシア・セランゴール州）
- 蘇州日本電波工業有限公司（中国・蘇州）

第77回定時株主総会決議ご通知

当社第77回定時株主総会において、下記のとおり報告並びに決議されましたのでご通知申し上げます。

記

- 報告事項**
- (1) 第77期（2017年4月1日から2018年3月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
本件は、上記の内容を報告いたしました。
- (2) 第77期（2017年4月1日から2018年3月31日まで）計算書類報告の件
本件は、上記の内容を報告いたしました。

決議事項

- 議 案** 資本準備金の額の減少及び剰余金の処分の件
本案は、原案のとおり承認可決されました。

以 上

◎Information

当社WEBサイトのご案内

当社WEBサイトでは最新のトピックス、詳細なIR情報などがご覧いただけます。水晶の特性や水晶デバイスの役割等を説明した「水晶の世界」という特設ページもございます。ぜひご覧ください。

Q NDK 検索

<http://www.ndk.com/jp>



● 製品・技術情報



<http://www.ndk.com/jp/products>

● 投資家の皆様へ



<http://www.ndk.com/jp/ir>

会
 社
 の
 概
 要
 (
 2018
 年
 3
 月
 31
 日
 現
 在
)

商
 号
 日
 本
 電
 波
 工
 業
 株
 式
 会
 社

英
 文
 社
 名
 N
 I
 H
 O
 N
 D
 E
 M
 P
 A
 K
 O
 G
 Y
 O
 C
 O
 .
 ,
 L
 T
 D
 .

設
 立
 1
 9
 4
 8
 年
 4
 月
 1
 5
 日

資
 本
 金
 1
 0
 6
 億
 円

従
 業
 員
 8
 7
 1
 名

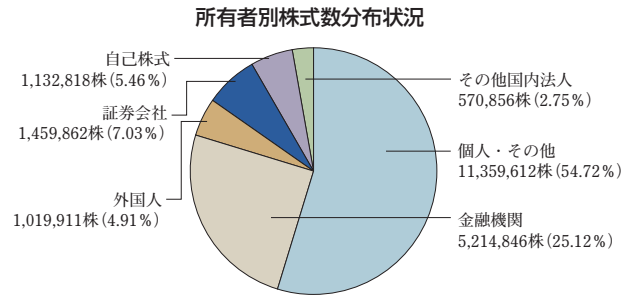
主
 要
 営
 業
 品
 目
 産
 業
 用
 水
 晶
 振
 動
 子
 、
 民
 生
 用
 水
 晶
 振
 動
 子
 、
 水
 晶
 発
 振
 器
 、
 水
 晶
 フ
 ィ
 ル
 タ
 、
 S
 A
 W
 デ
 バ
 イ
 ス
 、
 信
 号
 発
 生
 器
 、
 周
 波
 数
 シ
 ン
 セ
 サ
 イ
 ザ
 、
 超
 音
 波
 探
 触
 子
 、
 人
 工
 水
 晶
 、
 光
 学
 用
 デ
 バ
 イ
 ス
 、
 Q
 C
 M
 セ
 ン
 サ

役
 員
 (
 2018
 年
 6
 月
 22
 日
 現
 在
)

会 社 に お け る 地 位	氏 名
代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長	竹 内 敏 晃
執 行 役 員 社 長	
取 締 役 員 副 社 長	加 藤 啓 美
取 締 役 員 副 社 長	
取 締 役 員 副 社 長	成 瀬 純 一
専 務 執 行 役 員	
取 締 役 員	福 原 礼 二
常 務 執 行 役 員	
取 締 役 員	野 邊 地 明 雄
常 務 執 行 役 員	
取 締 役 員	赤 池 和 男
社 外 取 締 役	
立 光 武 彦	
社 外 取 締 役	
島 田 博 文	
常 勤 監 査 役	
半 田 重 夫	
社 外 監 査 役	
劔 持 昭 司	
社 外 監 査 役	
諏 訪 頼 久	

株
 式
 の
 状
 況
 (
 2018
 年
 3
 月
 31
 日
 現
 在
)

発 行 可 能 株 式 総 数	40,000,000株
発 行 済 株 式 の 総 数	20,757,905株
株 主 数	10,141名



大
 株
 主
 の
 状
 況
 (
 2018
 年
 3
 月
 31
 日
 現
 在
)

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	690	3.51
株 式 会 社 り そ な 銀 行	667	3.40
丸 三 証 券 株 式 会 社	658	3.35
竹 内 敏 晃	623	3.17
株 式 会 社 埼 玉 り そ な 銀 行	610	3.10
竹 内 寛	528	2.69
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	349	1.77
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	345	1.75
株 式 会 社 三 菱 東 京 U F J 銀 行	318	1.62
東京海上日動火災保険株式会社	315	1.60

注) 1. 自己株式につきましては、上記大株主からは除外しております。また、持株比率は、発行済株式総数から自己株式の数を控除して算出しております。

2. 株式会社三菱東京UFJ銀行は、2018年4月1日付で株式会社三菱UFJ銀行に商号を変更しております。

株 主 メ モ

事 業 年 度
 毎
 年
 4
 月
 1
 日
 から
 翌
 年
 3
 月
 31
 日
 ま
 で

定
 時
 株
 主
 総
 会
 毎
 年
 6
 月

基
 準
 日
 定
 時
 株
 主
 総
 会
 ・
 期
 末
 配
 当
 金
 3
 月
 31
 日
 中
 間
 配
 当
 金
 9
 月
 30
 日

単
 元
 株
 式
 数
 100株

公
 告
 方
 法
 電
 子
 公
 告
 (
 予
 備
 的
 公
 告
 方
 法
 は
 日
 本
 経
 済
 新
 聞
)

公
 告
 掲
 載
 U
 R
 L
 <http://www.ndk.com/ir>

株
 主
 名
 簿
 管
 理
 人
 東
 京
 都
 千
 代
 田
 区
 丸
 の
 内
 一
 丁
 目
 4
 番
 1
 号
 三
 井
 住
 友
 信
 託
 銀
 行
 株
 式
 会
 社

郵
 便
 物
 送
 付
 先
 〒
 168-0063
 東
 京
 都
 杉
 並
 区
 和
 泉
 二
 丁
 目
 8
 番
 4
 号
 三
 井
 住
 友
 信
 託
 銀
 行
 株
 式
 会
 社
 証
 券
 代
 行
 部

(
 電
 話
 照
 会
 先
)
 電
 話
 0120-782-031
 (
 フ
 リ
 ー
 デ
 ィ
 ャ
 ル
)

上
 場
 証
 券
 取
 引
 所
 東
 京
 証
 券
 取
 引
 所
 市
 場
 第
 一
 部

証
 券
 コ
 ー
 ド
 6779